



## 関西蓄電池人材育成等コンソーシアム

## 事務局対談【後編】 - バッテリー産業の未来（3） -

（一社）電池サプライチェーン協議会  
事務局長 鈴木 一裕 さん

（一社）電池工業会  
総務・調査担当部長 高田 浩 さん

前編に引き続き、関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの事務局を務める一般社団法人電池工業会（BAJ）高田さん、一般社団法人電池サプライチェーン協議会（BASC）鈴木さん、近畿経済産業局（以下「局」）による対談をお届けします。

## バッテリーとの出会い

（局）お二人のこれまでのバッテリー業界との関わりを教えてください。

（高田）電池メーカーに就職し、30年以上バッテリーに関わっています。技術職として入社しましたが、大半の期間は営業部門に在籍していました。当時は小型リチウムイオン電池の開発が進み始めた頃で、顧客のニーズを聞き取り開発部門へ繋ぐ B to B 営業としての役割を担っていました。現在は、BAJにてバッテリー産業の調査等に携わっています。

（鈴木）大学では燃料電池の研究をしていました。自動車メーカーへ就職し、リチウムイオン電池の開発部署に配属されたことをきっかけにリチウムイオン電池、全固体電池の開発にこれまで携わってきました。後に電池メーカーへ出向し、渉外担当としてBASCの立ち上げに携わる等、バッテリー産業の競争力向上のために日々尽力しています。

## コンソーシアムの活動裏話

（局）現在、コンソでは産学官が密に連携して取組が進んでいると思います。業界団体として、意識していることはありますか？

（高田）まずは産業界が一枚岩となるためにBAJ・BASCで月1回意見交換の場を持ち、製造能力増強に人材は不可欠で、そのためには産業界全体での協力が必須との認識を共有しました。教材作成には電池メーカー担当者にも参加してもらい「皆で手を動かして一緒に作る」よう意識することで結束力が強まったと感じています。

（鈴木）これまで日本のバッテリー産業は尖った技術のすり合わせを強みに世界をリードしてきました。したがって、電池メーカー各社は技術に関する情報公開は極力控えて他社との差別化を図ってきましたが、バッテリー人材育成のためには、どんなプロセスで電池ができるのか、どんな技術が使われているのかを広く学生に理解してもらい、業界に興味関心を持ってもらうことが大切、との考えを各社で共有し、意識を切り替えました。

（高田）学校の先生方とのコミュニケーションについては、双方で一般的に使っている業界用語が分からないという言葉の壁が悩みでした。



（鈴木）そのために、バッテリーの将来性を丁寧に説明したり、工場見学の機会を持ったりしてバッテリーの魅力を伝えることと、授業の見学や対話を通じて、先生方の想いを理解することに努めました。そうした経験は、コンソーシアムでの活動にとって学びが大きいものでした。

### バッテリー教材に込めた想い

（局）3月にリリースした[バッテリー教育プログラム教材](#)の魅力はどんなところでしょうか？

（高田）電池メーカーの社内教育資料を基に、技術者直伝の現場の生の情報を加え、先生方との意見交換やデモ授業を行いながら作成しました。学生にとって分かりやすい表現・先生が使いやすい構成になるよう工夫しています。入社後にも役立つ学びがありますし、また、電池メーカーだけでなく、材料メーカーや車、エネルギー、DX関係の業種等でも知っておいて損はない知識が盛り込まれているはずです。

（鈴木）先生ご自身で教えられる点がポイントです。学生の興味や必要な学びを一番に理解している先生が授業を行うことが大切と考えています。一方で、製造工程の解説等、専門知識がやや多い部分の授業は、地元の電池関連企業と連携していただき、企業の現場を良く知る従業員が直接解説することで、より学びを深めていただくことも可能だと思います。

（高田）最近では、バッテリー授業を実施し魅力に共感した先生が、他の先生方にバッテリー教育の宣伝をしてくださっています。我々の想いが先生方に伝わり、こうしてバッテリー教育の輪を広げてくださったり、よりよい教材づくりのためにご意見をいただいたりと、熱意をもってバッテリー教育に関わっていただいていることをとても嬉しく思っています。

（鈴木）今後国内各地でバッテリー工場の新設が進むことが予想される中、バッテリー教育を実施する学校が全国に広がることを期待しています。

### 今後の取組に向けた意気込み

（高田）授業を実施した先生のフィードバックもふまえて、産学官で教材の拡充に関する検討を進めています。昨年度より発展的な内容も扱う予定で、企業や先生方と、より細やかな調整に努めたいと考えています。また、子どもの頃からバッテリーに親しみを持ってもらうため、BAJでは「[手づくり乾電池教室](#)」等のイベントを主催しています。8月には、[経済産業省こどもデーにも出展](#)し、313人の参加がありました。

（鈴木）BASCではバッテリー産業への新規参入を検討する企業向け電池セミナー（※）を昨年度から開講していますし、今年度は新たにCEATEC2024に電池業界が一体となってブース出展をすることになりました。これからもバッテリー業界の魅力発信のために、様々な取組に挑戦したいです。

### 編集後記

後編では、バッテリー産業の振興にかけるお二人の想いをお伺いしました。産学官連携には密なコミュニケーションや歩み寄りが大切なこと、また「現場を見る」ことがより深い相互理解に繋がるとのお話が印象的でした。

本コンソーシアムでは、引き続きバッテリー教材の拡充、普及と、バッテリー業界の魅力発信の取組を推進していきます。今後のDENCHY記事も、どうぞ楽しみに！

### Messages

本年度からバッテリー分野初の産学連携による教育プログラムが本格開始しました。今後更なる取組拡充を目指します。BAJでは3年前から「でんち川柳コンテスト」を実施しておりますので、最後に一句「バッテリーで動かせ、未来を。DENCHYと共に」

是非我々の仲間に入って頂き、一緒に蓄電池で未来を動かしましょう！

（一社）電池工業会  
総務・調査担当部長  
高田 浩 さん



（※）BASC主催電池セミナー：[BASC Battery College](#)